



計画的な受験勉強を

期末考査も終了し、もうすぐ長期休暇に入ります。『夏を制するものは入試を制す!』という言葉がありますが、これは嘘ではないでしょう。合格した受験生のほとんどが、「合格へのカギは夏休みの過ごし方にある」と言っています。今日からの7週間をいかに過ごしたら良いのか、最低限度のことを書きます。計画的な学習と規則正しい生活を心がけてください。とりわけ、最近では自分で学習する習慣のついていない人が増えてきました。夏休みは、近くで先生が指導してくれるわけではありません。だからこそ大きく差がつくのです。予備校に行くにしても、頼りきりでは結局、入試直前に学習・生活リズムを崩し失速する可能性が大きいです。自分1人でどれだけやれるかが決定的な可否の分かれ目です。

基礎・基本を大切にしてください。振り返った時に、これを学んだと言える計画の実行をして下さい。(何に取り組んだら良いか解らないから予備校に行く。このパターンだけは避けたいです。)



夏休みの成功のカギはスタートにある

～夏休みの間ずっと続くように計画を立てスタートすること～

夏休み全体の学習プランを、効率よくするのが重要なポイントになります。最も多い失敗は、休みに入って急激に学習のペースを高めたために、早い時期に息切れしてしまうケースです。夏休みに大きくジャンプするためには助走が必要です。すぐに夏休み全体の計画を立てて、学習をスタートさせましょう。

無理のない学習プランを

～できることから実行する～

順調に夏休みの学習をスタートしても、あまり無理な学習プランを立てると、2～3日は続いても挫折します。夏期講習に参加する人は、その期間はそれらの予習・復習を中心に計画を立てなければなりません。講習に参加しただけで勉強したつもりにならないでください。学習時間だけは多くなりますが、復習をしなければ多くのことを身につけることはできません。

作成した学習計画表には、振り返りを記入する欄を作りましょう。夏休みの途中で、計画と実行結果とを比べてみて、計画に無理があるようなら修正をします。この修正作業がとても大切なポイントです。ほとんどの場合は、計画通り行くことの方がまれなのです。この見直し作業を、10日ごとに夏休み中4回は行いたいものです。結果を見直せば、例えそれが計画通りでなかったにせよ、自分はこれだけ取り組んだという自信にもつながっていきます。

1日を計画的に

～ポイントは朝の学習スタートにある～

午前中に1日の学習量の半分近くをこなせれば、だいたいその日の学習は計画どおりにいくでしょう。午前中4時間、午後2時間、夜4時間勉強するとすれば、1日10時間の学習時間をこなすことができます。少なくとも8時間は勉強しないと、上位校の合格はむずかしいでしょう。その中で、午前中は英語と数学にあてるというように、大まかに計画すればよいと思います。大切なのは、午前中は、取り組みはじめやすい好きな科目(得意科目)からスタートすることです。そして気分を良くしてから不得意科目に進みましょう。



科目ごとの目標を決める

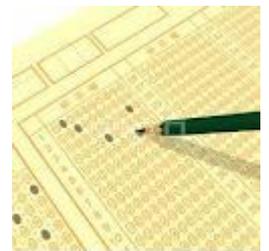
科目では、この夏に『英語』、『数学』(私立文系は『国語』の基礎固め)を克服できるかどうか、入試の可否を大きく左右します。2学期からは理科・社会の追い込みに入るし、もう『英語』、『数学』を伸ばす余裕は本当に少なくなります。この夏休みが、最後のチャンスです。

また、『理科』、『社会』では、基本が確立していない人が、少なからずいるようです。科目にもよりますが、基本の確立には教科書の取り組みが効果的でしょう。教科書に出てくる個々の知識は何となく理解していても、それらが確実ではない、または個々の知識の関連性につかめていないといった場合には、教科書を通して読むことによってより理解が深まります。また、定期考査や模試の見直しも、この時期を逃すと、もうなかなか時間がとれません。理社にそれほど時間がさけないとは思いますが、これらの学習を通して、基本的な学力の確立に努めて下さい。(6月末に受験した模擬試験の問題と答えが返却されます。模試で間違えた個所を補うことを目標にするのもあります。)



過去問を少し見よう

進路閲覧室の赤本コーナーは人気ですが、借りたり、コピーしたりで勉強したつもりになっていませんか。大学によって、出題傾向はずいぶん異なります。国公立と私立が違うのはもちろんのこと、同じ私立でも早稲田と慶応ではかなり違います。また、共通テストの問題は選択式ですが、独特の癖があります。ですから、なるべく早い段階で過去問に取り組む必要があります。といっても、この時期は傾向を知るだけで十分なので、とりあえず1、2年分解いてみるのがよいでしょう。(実力、到達度により異なります。最終的な理想は10年と言いますが……。)



以上を参考に自分なりの計画を立て、充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。これができるかどうか2学期以後の大きな差につながります。夏休みに身につけた学習習慣は、2学期以降、入試直前、そして大学入学後もあなたの財産となるはずですよ。